若冲、幻のモザイク屏風を復元

特別出品

伊藤若冲「釈迦十六羅漢図屏風」
デジタル推定復元　2024年　八曲一隻　TOPPAN株式会社制作

戦災によって焼失したと思われ、現在では小さな白黒図版のみが残る屏風。
最新のデジタル技術と学術的知見の融合で復元。

音声ガイド

貸出価格：1台 650円（税込）

ナビゲーター **井浦 新**（俳優）

日本美術にも造詣が深い俳優の井浦新さんが、「知られざる鉱脈」といえる本展出品作やその作者の魅力をわかりやすく解説します。ボーナストラックとして本展監修・日本美術応援団団長でもある山下裕二氏と、団員3号の井浦さんのスペシャル対談も。美術ファン必聴です。

関連イベント

講演会「日本美術の鉱脈を掘り起こす」

2025年6月21日（土）
14:00〜15:30（開場 13:30）
登壇者：山下裕二（本展監修、明治学院大学教授）
会場：大阪中之島美術館　1階ホール
定員：200名（先着順、事前申込不要）
参加費：無料
※本展観覧券（利用後の半券可）が必要です。

◎最新の情報、他イベントは公式サイトをご覧ください。

グッズ

LOQIエコバッグ

若冲・応挙の合作屏風と
大人気のLOQIがコラボ！

妖怪退治図 キャップ

伝岩佐又兵衛の妖怪を刺繍で
あしらったオリジナルキャップです。

◎他にも様々なグッズを開発中！

グッズセット券

若冲・応挙合作ミニ屏風セット券

※画像はイメージです

7,000円（税込）

あの若冲・応挙の合作屏風がグッズになりました！
細部まで高精細に再現されたハイクオリティな商品です。
お手元に2人の巨匠の屏風をどうぞ。

サイズ：各 天地280mm×幅300mm

［販売場所］
ローソンチケット（Lコード：55937）
セブンチケット（セブンコード：110-336）

※「若冲・応挙合作ミニ屏風」と観覧券（一般）とのセット券です。※グッズは本展会期中・開館日・開館時間に限り、本展会場の特設ショップレジカウンターでお引き換えください。※予定数に達しない場合のみ、本展会場特設ショップで数量限定販売します（なくなり次第終了）。

観覧料	一般	高大生	小中生
前売・団体	1,600円	1,300円	300円
当日	1,800円	1,500円	500円

【前売券およびグッズセット券 販売期間】4月21日（月）10:00〜6月20日（金）23:59
【主なチケット販売場所】大阪中之島美術館チケットサイト、展覧会公式オンラインチケット（etix）、ローソンチケット（Lコード：55937）、セブンチケット（セブンコード：110-336）、チケットぴあ（Pコード：687-216）、イープラス、アソビュー!、KKDay、ローソン各店舗、セブンイレブン各店舗、ファミリーマート各店舗など

※税込価格。※団体料金は20名以上。団体鑑賞をご希望される場合は事前に大阪中之島美術館公式ホームページからお申込みください。※学校団体の場合はご来場の4週間前までに大阪中之島美術館公式ホームページからお申込みください。※災害などにより臨時休館する場合があります。※障がい者手帳などをお持ちの方（介護者1名を含む）は当日料金の半額（要証明）。ご来館当日、2階のチケットカウンターにてお申し出ください。（事前予約不要）※本展は、大阪市内在住の65歳以上の方も一般料金が必要です。※事前予約制ではありません。展示室内が混雑した場合は、入場を規制する場合があります。

開催期間中、17:00〜19:00まで開館延長をする日がございます。
【開館延長日】2025年7月18日から8月30日までの金曜日、土曜日、祝前日
（7/18, 19, 20, 25, 26, 8/1, 2, 8, 9, 10, 15, 16, 22, 23, 29, 30）

［電車］●京阪：中之島線 渡辺橋駅（2番出口）より南西へ徒歩約5分 ●Osaka Metro：四つ橋線 肥後橋駅（4番出口）より西へ徒歩約10分 ●JR：大阪環状線 福島駅／東西線 新福島駅（2番出口）より南へ徒歩約10分 ●阪神：福島駅より南へ徒歩約10分 ［バス］●大阪シティバス：JR大阪駅前より53号・75号系統で「田蓑橋」下車、南西へ徒歩約2分　※お帰りのJR大阪駅方面への便利なバス停は「渡辺橋」です。【駐車場】有料駐車場あり（割引サービスはございません。）※詳細は大阪中之島美術館公式ホームページをご覧ください。

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1
［問い合わせ先］TEL: 06-4301-7285
大阪市総合コールセンター（なにわコール）
受付時間 8:00〜21:00（年中無休）

大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

展覧会X
@koumyakuten

展覧会公式サイト
https://koumyakuten2025.jp

伝岩佐又兵衛「妖怪退治図屏風」（部分）
江戸時代（17世紀）八曲一隻 紙本着色

未来の国宝を探せ！

日本美術の鉱脈展

Rich Veins of Japanese Art
Mining for Hidden Treasures

重要文化財「人体文様付有孔鍔付土器」
鋳物師屋遺跡出土 縄文時代中期 山梨・南アルプス市教育委員会

2025 6/21 sat ▸ 8/31 sun

［会場］大阪中之島美術館 4階展示室
［開場時間］10:00−17:00（入場は16:30まで）
※一部日程において開館延長を実施します。
開館延長日時：2025年7月18日から8月30日までの金曜日、土曜日、祝前日の17:00−19:00
詳細はチラシ裏面、または展覧会公式サイトをご確認ください。
［休館日］月曜日、7月22日（火）※ただし7月21日（月・祝）、8月11日（月・祝）は開館。

主催：大阪中之島美術館、日本経済新聞社、NHK大阪放送局、NHKエンタープライズ近畿
協賛：岩谷産業、大阪商工信用金庫、大林組、ダイキン工業、三井不動産、桃谷順天館
監修：山下裕二（明治学院大学教授）　企画協力：浅野研究所

https://koumyakuten2025.jp/

大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

日本美術には、まだ世に知られていない作者、作品が埋もれています。たとえば、伊藤若冲（1716–1800）の場合、2000年に京都国立博物館で開催された展覧会をきっかけに、空前の若冲ブームが巻き起こりましたが、そんな若冲も、2000年以前は一般の人々にとっては「知られざる鉱脈」でした。その後も若冲をはじめとする奇想の画家の発掘は進みましたが、縄文から近現代まで、いまだ知られざる鉱脈がまだまだ眠っています。本展では、あらためてその鉱脈を掘り起こし、美しい宝石として今後の日本美術史に定着していくことを目標としています。観客のみなさんに、ご自分の眼で「未来の国宝」を探していただければと思います。

「築島物語絵巻」（部分）
室町時代（16世紀）　巻子（二巻）のうち　紙本着色　日本民藝館
※場面替えあり

字はウマいのに絵はヘタ

日本みやげが外国から里帰り

笠木治郎吉「提灯屋の店先」
明治時代　水彩、紙

象牙を彫ったホンモノにしか見えないタケノコ

安藤緑山「竹の子に梅」
大正～昭和初期　象牙着色　京都国立近代美術館

新発見！

若冲、応挙の合作屏風

伊藤若冲「竹鶏図屏風」
寛政2（1790）年以前　二曲一隻　紙本金地墨画

円山応挙「梅鯉図屏風」
天明7（1787）年　二曲一隻　紙本金地墨画

ナンジャ コリャ 連発

牧島如鳩（まきしまにょきゅう）「魚籃観音像（ぎょらんかんのん）」　昭和27（1952）年　油彩、カンヴァス　足利市民文化財団

仏教とキリスト教のコラボレーション

極彩色の武士vs妖怪

伝岩佐又兵衛「妖怪退治図屏風」
江戸時代（17世紀）　八曲一隻　紙本着色

猿たちの楽園

重要文化財 式部輝忠「巌樹遊猿図屏風」（左隻）
室町時代（16世紀）　六曲一双のうち　紙本墨画　京都国立博物館　※展示期間：7月29日～8月31日

生人形、近年アメリカから凱旋帰国

安本亀八「相撲生人形」
明治23（1890）年　木彫彩色、着装
熊本市現代美術館

かわいい子がピース

重要文化財「人体文様付有孔鍔付土器」
鋳物師屋遺跡出土　縄文時代中期
山梨・南アルプス市教育委員会

縄文から発想したドレス

岡﨑龍之祐「JOMONJOMON-Emotion Beat」
2025年　ベロア、ポリエステルボーン、ABSプラスチックロッド